

日本心理学者事典

明治期以降の心理学者786名の経歴、研究業績を
詳細に記した系統的事典

日本 心理学者事典

大泉 溥 編



大泉 溥編纂

定価 10,450 円(9,500 円+10%税) ISBN 4-87733-171-9 C3511

A5 判／本文 1,320 頁

● 収録について

- ① 明治期以降の日本における心理学の移入・展開・発展に寄与した人物 786 名。
(心理学書の著者約 2,000 名をリストアップし、さらに経歴や研究業績などを調べ、それぞれの時期に重要な役割を果たした心理学者を選んだ。)
- ② 哲学・宗教・教育・医学・動物学・社会学・経済学・法律学・文学・芸術など関連領域の専攻者で心理学の形成に関与した人々たちも収録。

● 人物項目の配列と記事掲載

- ① 人名読みの五十音順、見出しの氏名は漢字表記として「よみがな」をつけ、()内に生年～没年を西暦で示し、専門領域や研究課題の類別も記す。
- ②【経歴】では、学歴と職歴を中心とし、心理学専攻者の場合には、卒業記事の末尾に()で卒論題目を入れる。
- ③【学会など】、【学位】、【賞】の項目も設けた。
- ④【著作】では、《著作集》、《単著》、《共著》、《編著》〔監修を含む〕、《翻訳》、《論文》、《テスト》に分けて示す。
- ⑤【参考文献】は、回想記、自伝、年譜、著作目録、追悼文、伝記、研究文献を記載。
- ⑥校閲を約 350 名の収録予定者本人または遺族(主に著作権継承者)に受けた正確な情報。
- ⑦約 470 名の肖像写真(顔写真を基本)を掲載。

● 付録と索引

- ① 近代日本の各大学(旧制)における心理学体制の変遷。
- ② 近代日本の心理学者の論考を掲載していた雑誌(1950 年代まで)83 誌の解説。
心理学専門雑誌 23 誌 総合雑誌・哲学医学関係雑誌 11 誌
教育関係雑誌 35 誌 育児・児童保護・社会事業関係雑誌 14 誌
- ③ ローマ字表記による氏名索引(アルファベット順)を巻末に付ける。